

# 建築工事等特記仕様書 (Word) の 操作概要

令和8年2月1日  
神戸市建築技術管理委員会

※発注図書の体裁の統一及び特記事項の明瞭化のため、  
必ずこの操作概要に沿って作業を行ってください。

# 建築工事特記仕様書の操作概要

## I 入力作業前の設定事項 (I)

入力作業前の設定事項(I) Wordソフトの設定 ※使用中のPCで一度設定すると保持されます。

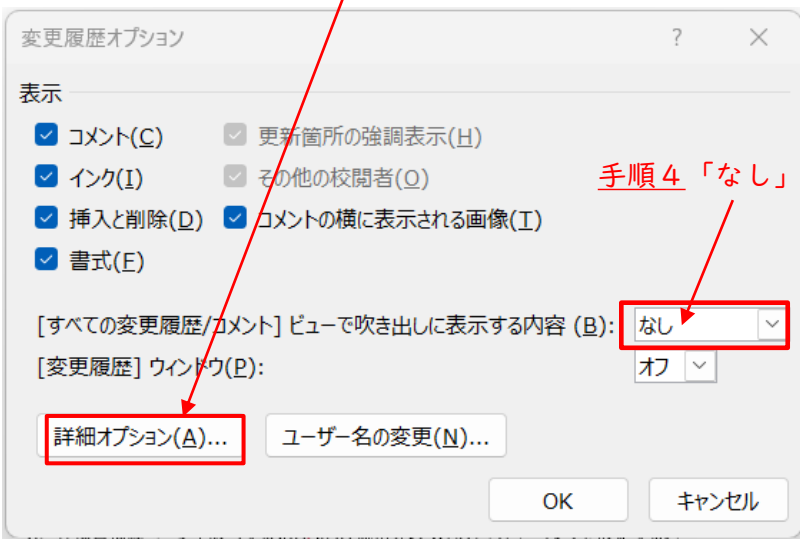
### 目的

追記した「○」印や文字列が自動で「赤字」表示されるようにする  
(削除されたところは明示されません)

### 手順

1. 「校閲」タブを選択
2. 「変更履歴オプション」を左クリック
3. [すべての変更履歴/コメント] を「なし」を選択
4. 「詳細オプション」を左クリック
5. 「変更履歴とコメント」の赤線の範囲内を図のように修正

手順5 「詳細オプション」を左クリック

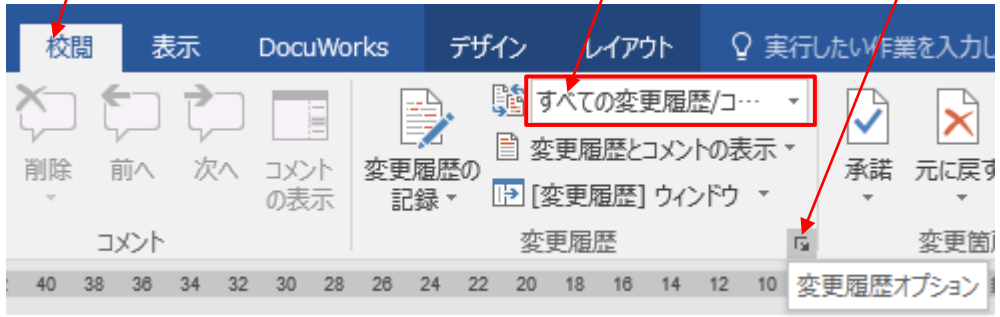


手順4 「なし」を選択

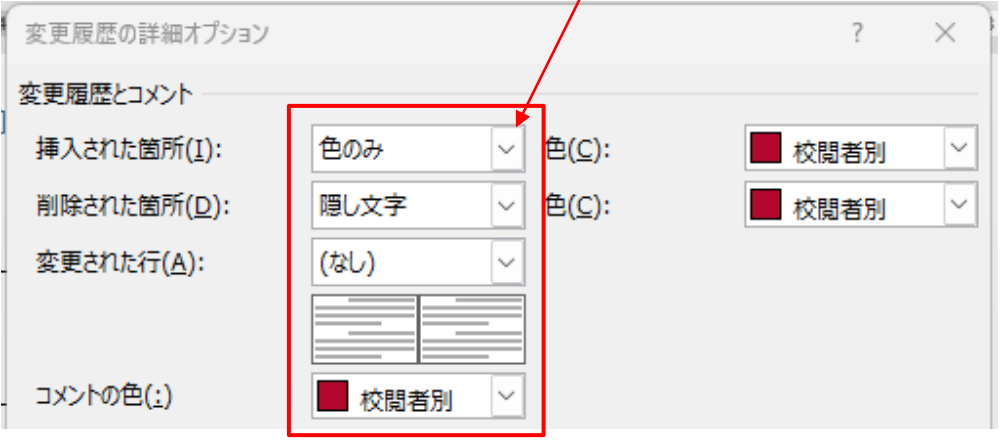
手順1 「校閲タブ」を選択

手順2 「すべての変更履歴/コメント」を選択

手順3 「変更履歴オプション」を左クリック



手順6 「変更履歴とコメント」の赤線の範囲内を下図のとおり選択



# 建築工事特記仕様書の操作概要

## 2 入力作業前の設定事項（2）

入力作業前の設定事項（2） 各ファイルに入力する際の手順 ※（1）の設定を行っていない場合は「赤字」表示されません。

手順

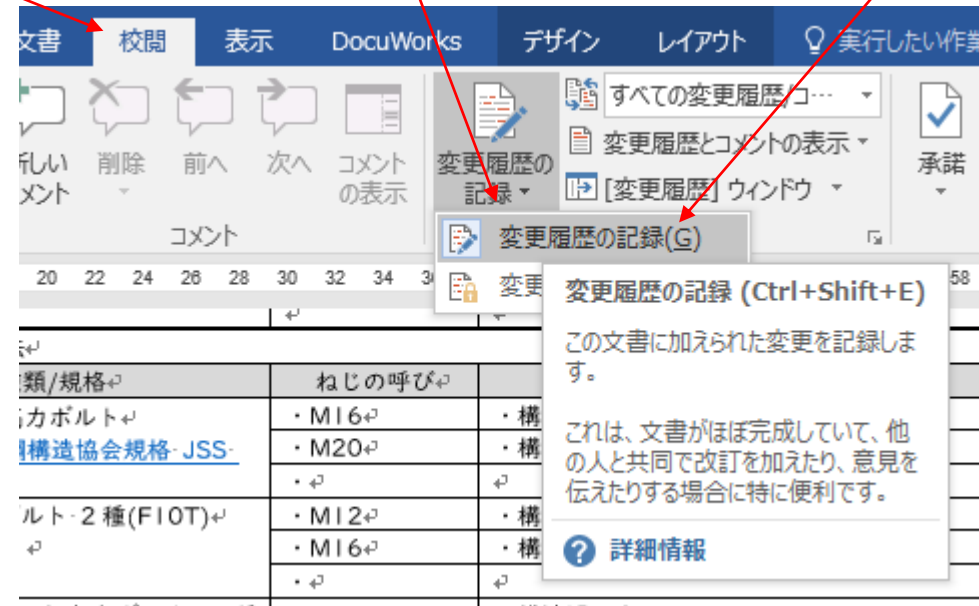
1. 「校閲」タブを選択
2. 「変更履歴の記録」を選択
3. 「変更履歴の記録」を左クリック

- ・上記の作業後、追記した「○」印や文字列は「赤字」で表示されるため、当該工事固有の特記項目がわかりやすくなります。
- ・発注図書も赤字のままで取り扱うこととします。

手順1 「校閲タブ」を選択

手順2 「変更履歴の記録」を選択

手順3 「変更履歴の記録」を左クリック



# 建築工事特記仕様書の操作概要

## 3 適用項目に「○」を付ける方法

### 適用項目に「○」を付ける方法

#### 手順

- 1. 当該「・」部分を選択⇒グレーに反転
- 2. 「ホームタブ」⇒「フォント」⇒「囲い文字」を選択
- 3. 「スタイル」⇒「外枠のサイズを合わせる」
- 4. 「囲い文字」⇒「○」を選択
- 5. 「OK」をクリック
- 6. 「・」が「○」に変わり完了
- 7. 次の「・」を選択し F4キー（※）を押すと上記手順2～6が実行される

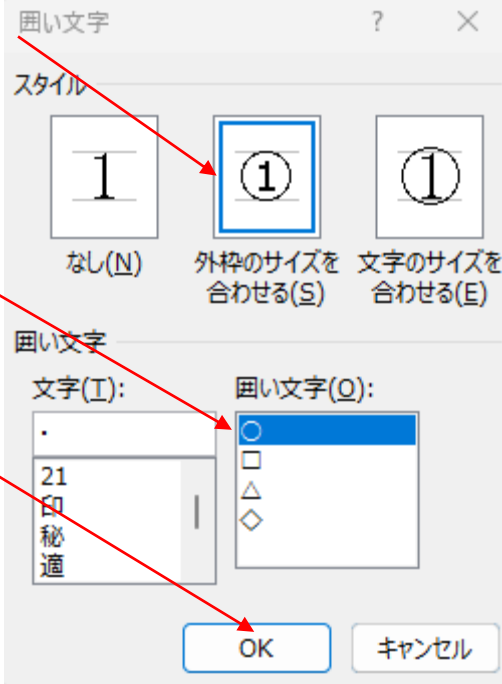
※F4キーは「直前の操作を繰り返す」ショートカットキー

#### 手順3

「外枠のサイズを合わせる」を選択

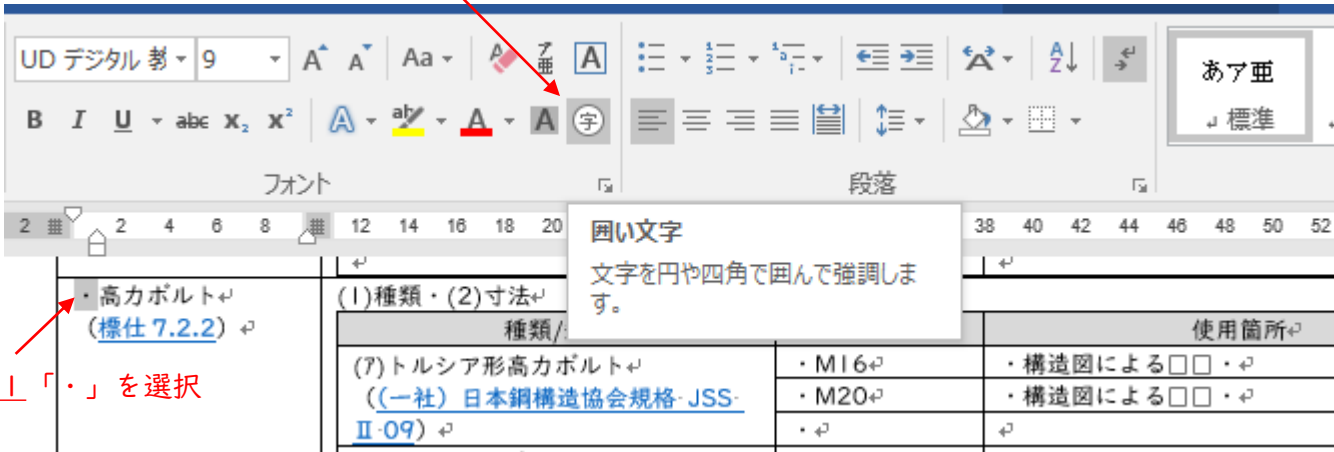
#### 手順4 「○」を選択

#### 手順5 「OK」をクリック



#### 手順2 「囲い文字」を選択

#### 手順1 「・」を選択



#### 手順6

「・」が「○」に変わり選択完了

高力ボルト (標仕 7.2.2)	(1)種類・(2)寸法
	種類/規格
	(7)トルシア形高力ボルト (一社)日本鋼構造協会規格-JSS-II-09
	(4)JIS 形高力ボルト-2 種(F10T) (JIS-B-1186)
	(7)溶融亜鉛めっき高力ボルト-1 種

#### 手順7

次の「・」を選択し、「F4キー」を押すと手順2～6が実行される

溶接材料 (改仕 8.2.10)	(3)改仕 8.2.10(1) ・構造図による
スタッド (改仕 8.2.11)	スタッドは JIS F 径

# 建築工事特記仕様書の操作概要

## 4 建築工事特記仕様書の入力方法（適用する項目の選択方法）

項目	特記事項																								
1 節 共通事項																									
・防水工事の保証書の提出及び保証年限	<table><tr><th>保証書提出工事</th><th>保証箇所</th><th>保証年限</th></tr><tr><td rowspan="4">・アスファルト防水</td><td>屋根（保護用）</td><td>※10年 ・ 年</td></tr><tr><td>屋根（露出用）</td><td>※10年 ・ 年</td></tr><tr><td>浴室・便所</td><td>※10年 ・ 年</td></tr><tr><td>地下室・貯水槽</td><td>※10年 ・ 年</td></tr><tr><td>・改質アスファルトシート防水</td><td></td><td>※10年 ・ 年</td></tr><tr><td>・合成高分子ルーフィング防水</td><td></td><td>※10年 ・ 年</td></tr><tr><td>・塗膜防水</td><td></td><td>・ 10年 ・ 5年 ・ 年</td></tr><tr><td>・ケイ酸質系塗布防水</td><td></td><td>・ 10年 ・ 5年 ・ 年</td></tr></table> <p>※保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出すること。 ※防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承諾を受ける。</p>	保証書提出工事	保証箇所	保証年限	・アスファルト防水	屋根（保護用）	※10年 ・ 年	屋根（露出用）	※10年 ・ 年	浴室・便所	※10年 ・ 年	地下室・貯水槽	※10年 ・ 年	・改質アスファルトシート防水		※10年 ・ 年	・合成高分子ルーフィング防水		※10年 ・ 年	・塗膜防水		・ 10年 ・ 5年 ・ 年	・ケイ酸質系塗布防水		・ 10年 ・ 5年 ・ 年
保証書提出工事	保証箇所	保証年限																							
・アスファルト防水	屋根（保護用）	※10年 ・ 年																							
	屋根（露出用）	※10年 ・ 年																							
	浴室・便所	※10年 ・ 年																							
	地下室・貯水槽	※10年 ・ 年																							
・改質アスファルトシート防水		※10年 ・ 年																							
・合成高分子ルーフィング防水		※10年 ・ 年																							
・塗膜防水		・ 10年 ・ 5年 ・ 年																							
・ケイ酸質系塗布防水		・ 10年 ・ 5年 ・ 年																							
・水張り試験	<p>・行う ※行わない</p> <p>試験箇所： ・ 図示 ・</p> <p>試験方法</p> <p>※ドレイン廻りをルーフィング類やウエス類で仮のふたをして、防水層の立上り端部を越えない様に水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や階下への漏れの有無を確認する。</p>																								
2 節 アスファルト防水																									
・材料 ( <a href="#">標仕 9.2.2</a> )	<p>(3)アスファルトルーフィング類</p> <p>・(カ)改質アスファルトルーフィングシート (<a href="#">JIS A 6013</a>)</p> <p>※標仕 <a href="#">表 9.2.3</a>、<a href="#">表 9.2.4</a>、<a href="#">表 9.2.5</a>、<a href="#">表 9.2.6</a>、<a href="#">表 9.2.7</a>、<a href="#">表 9.2.8</a> による</p> <p>※厚さは <a href="#">JIS A 6013 表 4</a> による</p> <p>・(キ)部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート (<a href="#">JIS A 6013</a>)</p> <p>※標仕 <a href="#">表 9.2.5</a>、<a href="#">表 9.2.6</a>、<a href="#">表 9.2.7</a>、<a href="#">表 9.2.8</a> による</p> <p>※厚さは <a href="#">JIS A 6013 表 4</a> による</p> <p>・(6)押え金物： ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度</p> <p>・(8)屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 (<a href="#">JIS A 9521</a>)</p> <p>種類： ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 bA（スキン層付き）</p> <p>厚さ： ・ 図示 ・ mm</p> <p>・(9)屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 (<a href="#">JIS A 9521</a>)</p> <p>種類： ・ 図示 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材（・ 2種 1号 ・ 2種 2号 ・ ）</p> <p>厚さ： ・ 図示 ・ mm</p>																								

該当項目に○を付ける  
(項目含む)

※印が適用  
※以外を適用する場合は、  
「・」に○を付けて記入

特記事項で適用する  
「・」に○を付ける

## 5 不要な章を非表示（折り畳み）にする方法

※この手順で操作を行わないと、折りたたんだ状態が保持されません。

1. 表の直上の「見出し行」にカーソルを移動
2. 「ホームタブ」⇒「段落」を左クリック
3. 「既定で折りたたみ」にチェック
4. 「OK」をクリック

## 手順2 「段落」を左クリック



### 手順3 「既定で折りたたみ」を選択

手順4 「OK」をクリック

## ・13章 屋根及びとい工事

項目	特記事項
Ⅰ節 共通事項	
※一般事項	※金属板による葺板、軒先包み板の類の端部、小口及び切断面等の防錆処理は十分に行うこと。



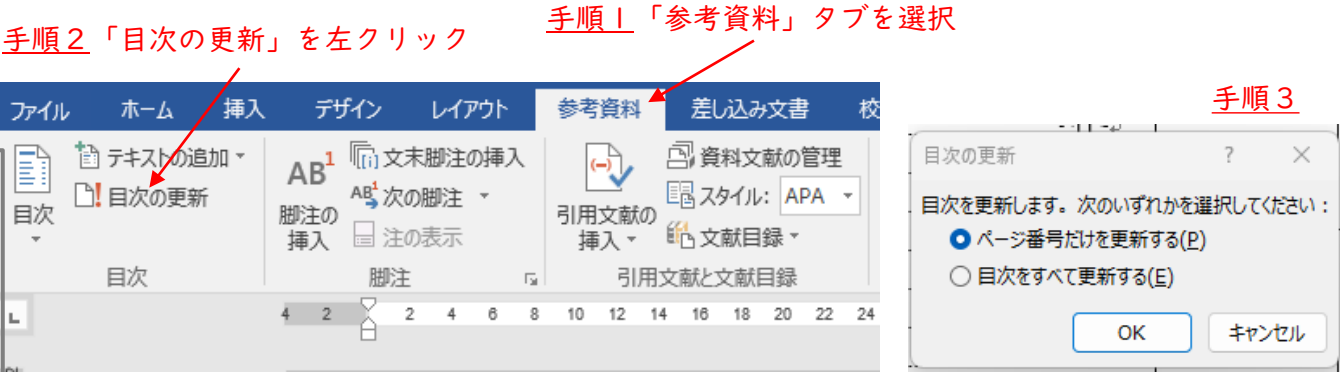
# 建築工事特記仕様書の操作概要

## 6 目次の更新方法

### 目次の更新方法

目的：非表示にした章による目次のページのずれを修正する

- 手順
- 1. 「参考資料」タブを選択
  - 2. 「目次の更新」を左クリック
  - 3. 「ページ番号だけを更新する」を選択し「OK」を左クリック
  - 4. ページ番号が更新される（赤字での表示となる）



目次

更新前

「総則」	1
1 章□各章共通事項	3
2 章□仮設工事	9
3 章□土工事	11
4 章□地業工事	11
5 章□鉄筋工事	13
6 章□コンクリート工事	14
7 章□鉄骨工事	17
8 章□コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事	19
9 章□防水工事	20
10 章□石工事	23
11 章□タイル工事	24
12 章□木工事	25
13 章□屋根及びびとい工事	28
14 章□金属工事	29
15 章□左官工事	30
16 章□建具工事	32
17 章□カーテンウォール工事	36
18 章□塗装工事	37
19 章□内装工事	38
20 章□ユニット及びその他工事	41
21 章□排水工事	43
22 章□舗装工事	44
23 章□植栽及び屋上緑化工事	46
24 章□とりこわし工事	47



目次

更新後

「総則」	1
1 章□各章共通事項	3
2 章□仮設工事	9
3 章□土工事	11
4 章□地業工事	11
5 章□鉄筋工事	13
6 章□コンクリート工事	14
7 章□鉄骨工事	17
8 章□コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事	19
9 章□防水工事	20
10 章□石工事	23
11 章□タイル工事	24
12 章□木工事	25
13 章□屋根及びびとい工事	25
14 章□金属工事	26
15 章□左官工事	27
16 章□建具工事	29
17 章□カーテンウォール工事	33
18 章□塗装工事	34
19 章□内装工事	35
20 章□ユニット及びその他工事	38
21 章□排水工事	40
22 章□舗装工事	41
23 章□植栽及び屋上緑化工事	43
24 章□とりこわし工事	44

手順4  
この範囲のページ番号が更新されている。更新された部分は赤字の表示となる。

## A4で作業を行う 場合の操作

## 8



A4で作業後  
A3に戻す操作

目的：レイアウトをA3、2段組みにすることでページ数を半減する。

1. 「レイアウト」タブを選択
2. 「印刷の向き」を左クリック→「横」を選択
3. 「サイズ」を左クリック→「A3」を選択
4. 「段組み」を左クリック→「2段」を選択
5. 目次の更新を行う→（p7 参照）

## 手順4 2段を選択



## 完成イメージ

# 建築工事特記仕様書の操作概要

## 9 PDF形式への変換

### PDF形式への変換

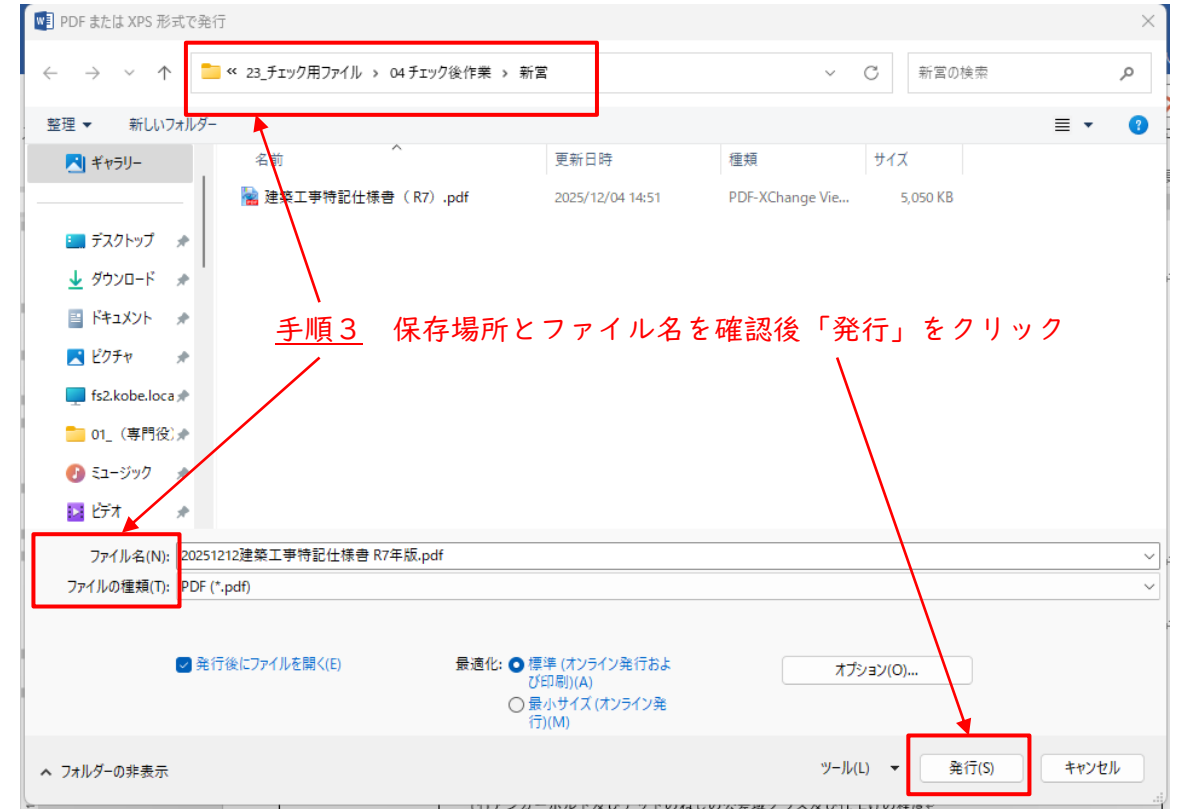
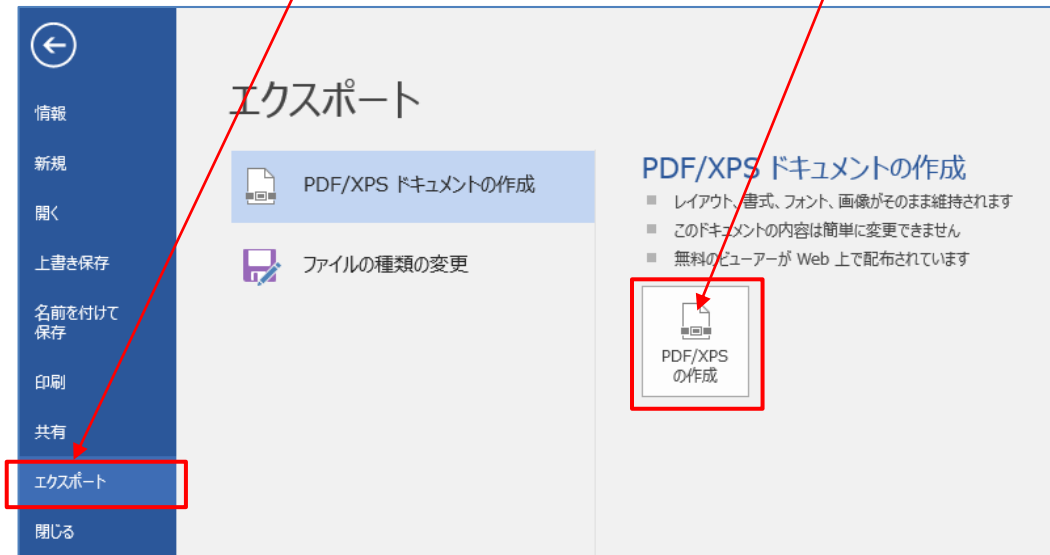
目的 PDFに変換したものを発注図書とするが、PDFに変換してもハイパーリンクを保持させるため下記のいずれかの方法で変換してください。

#### 手順（ひとつめの方法）

- 1 「ファイル」タブ→「エクスポート」をクリック
- 2 「PDF/XPSの作成」をクリック
- 3 保存場所とファイル名を確認後「発行」をクリック

手順1 「エクスポート」をクリック

手順2 「PDF/XPSの作成」をクリック



#### 手順（ふたつめの方法）

- 「ファイル」→「名前を付けて保存」
- 「保存するフォルダを選択」
- 「ファイルの種類」を「PDF」を選択→「保存」